

たくみびと
令和7年度 ふじマイスター「匠人」

認定者 ^{たき}瀧 ^よこと代



■洋服仕立職（83 歳）
富士市中丸

■主な表彰歴

第 29・32 回全国障害者技能競技大会 洋服種目 金賞（2006・2010 年）

第 7 回国際アビリンピック 洋服種目 銅賞（2007 年）

厚生労働大臣表彰（2023 年）

黄綬褒章（2024 年）

洋服仕立職人である瀧氏が、特に力を入れてきた分野は紳士服である。紳士服を仕立てる上での一番のこだわりは、型紙の制作にある。「しっかりと相手の体を見て、その特徴を型紙に反映すること」を大事にしており、一般的なオーダースーツで行われている採寸だけでは得られない、様々な体形や特徴、好みなどの情報を基にした型紙制作を心掛けている。近年は型紙を一から制作する職人は減少しており、型紙制作のノウハウの教えを乞うために来店する人も多い。

45歳の時に遭った交通事故により左上肢の機能障害が残った後も、技術の向上を図り、第7回国際アビリンピックでの銅賞受賞をはじめ、全国アビリンピックでは金賞を受賞するなど、洋服・紳士服種目で数々の賞を受賞するなど、技術に磨きをかけ続けている。

また、これらの長年の仕立により裏付けられた技術は、近年需要が増えている洋服の「直し」にも活かされおり、他店では断られたような、技術的に難しい「直し」も全て断らずに引き受け、県内外の多くの顧客から信頼を得ている。

